

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	市民交流プラザ運営管理事業		担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成20年度～
	施策	子育て支援の充実		種別	任意の事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供		市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030205-01 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として新たな設置要望が高まり、平成15年度に守谷市児童館建設検討委員会が発足し、平成20年度に児童センター、家庭児童相談室、市民活動支援センター等が入る複合施設として市民交流プラザが開館した（久保ヶ丘地内の児童館は閉館）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方法 指定管理者制度（アクティオ(株)）</li> <li>・指定管理期間 平成28年度～32年度</li> <li>・児童センター業務 児童に対する集団的・個別的な遊びの指導（季節行事、制作活動等）、体力の増進や情操を育む講座やイベント、地域活動支援（子育てサークル・子ども会等の育成・支援）、異世代交流事業（地域住民及び高齢者との交流や異世代交流団体の支援）</li> <li>・施設貸出業務 施設の利用許可、利用料金の徴収・維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理及び保守点検</li> </ul>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	※市民ギャラリー所管：生涯学習課，市民活動支援センター所管：市民協働推進課
0～18歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場を提供し、健康の増進と豊かな情操の発達を促し、児童の健全な育成を図る。また、保護者同士の交流の場や子育てに関する情報を提供して子育て支援を行うとともに、地域の高齢者との異世代交流等、地域と連携した行事開催をとおして、地域コミュニティの育成を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
平成25年からの懸案事項である雨漏り箇所の確定及び適切な改修方法を財政課を交えて検討し、計画的な改修を実施することで、利用者にとってより快適・安全な施設を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月～ 財政課職員とともに現地確認</li> <li>・平成28年8月 建物調査診断実施後に改修工事を実施する方針が確定</li> <li>・平成28年10月 建物調査診断及び改修工事実施設計業務委託のための予算措置（補正）</li> <li>・平成28年11月 建物調査診断及び実施設計業務委託契約</li> <li>・平成29年3月 工期延長及び契約金額変更</li> </ul>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
0～18歳までの施設利用者数（人）	35,088.00	40,586.00	39,669.00	40,000.00	40,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	改修必要箇所の特定ができたため、効率的・計画的な改修計画を策定することができた。また、施設の維持補修について指定管理者と情報共有し、協議の上役割分担を行えるよう調整を行ったことで、より効率的な維持管理を可能とした。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度については、来館者の利用に支障をきたさないよう改修工事を実施する。また、施設の維持補修について、修繕負担基準額の変更及び修繕必要箇所等の情報共有方法を確立し、より効率的な施設維持管理を可能にしていく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	39,904	39,733	39,565	127,276	39,700
	国・県支出金	0	0	5,544	5,544	5,544
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	918	923	314	314	314
	一般財源	38,986	38,810	33,707	121,418	33,842
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	160.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	656	0	0
トータルコスト		39,904	39,733	40,221	127,276	39,700

## 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	南守谷児童センター運営管理事業		担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成20年度～
	施策	子育て支援の充実		種別	任意的事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供		市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030205-02 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法		

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として新たな設置要望が高まり、平成15年度に守谷市児童館建設検討委員会が発足し、南守谷地区への新設も含めた施設整備について検討を開始。平成20年度に南守谷地区の児童センターとして開館した（指定管理者制度導入）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方法 指定管理者制度（(株)こどもの森）</li> <li>・指定管理期間 平成28年度～32年度</li> <li>・児童センター業務 児童に対する集団的・個別的な遊びの指導（季節行事、制作活動等）、体力の増進や情操を育む講座やイベント、地域活動支援（子育てサークル・子ども会等の育成・支援）、異世代交流事業（地域住民及び高齢者との交流や異世代交流団体の支援）</li> <li>・施設貸出業務 施設の利用許可、利用料金の徴収・維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理及び保守点検</li> </ul>
<b>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</b> 0～18歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場を提供し、健康の増進と豊かな情操の発達を促し、児童の健全な育成を図る。また、保護者同士の交流の場や子育てに関する情報を提供して子育て支援を行うとともに、地域の高齢者との異世代交流等、地域と連携した行事開催をとおして、地域コミュニティの育成を図る。	
<b>（参考）基本事業の目指す姿</b> 子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<b>次年度のコストの方向性（→その理由）</b> <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
指定管理者と常に情報共有を行い、より利用者ニーズを反映させた運営、講座企画を実施していく。	利用者アンケート結果及び建築物定期調査結果を踏まえ、施設の修繕方法について指定管理者に提案・協議の場を設定し、より密な情報共有が可能となった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
0～18歳までの施設利用者数（人）	47,292.00	49,736.00	47,815.00	47,900.00	48,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	施設の維持補修について指定管理者と情報共有し、協議の上役割分担を行えるよう調整を行ったことで、より効率的な維持管理を可能とした。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	施設の維持補修について、修繕負担基準額の変更及び修繕必要箇所等の情報共有方法を確立し、より効率的な施設維持管理を検討していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	39,773	38,470	36,663	39,054	39,100
	国・県支出金	0	0	5,544	5,544	5,544
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	680	682	841	841	841
	一般財源	39,093	37,788	30,278	32,669	32,715
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	95.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	390	0	0
トータルコスト		39,773	38,470	37,053	39,054	39,100

## 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	放課後子ども教室事業		担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成19年度～
	施策	子育て支援の充実		種別	法定+任意
	基本事業	安心して遊べる場の提供		市民協働	
予算科目コード	01-100401-23 補助	根拠法令・条例等	社会教育法 守谷市放課後子ども総合プラン実施規則, 守谷市放課後子ども		

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>児童が犠牲となる犯罪・事件が多発したことを背景に、子ども達が安心して遊べる場や色々な体験ができる場を提供するため、平成19年度から実施している。</p>	<p>放課後子ども総合プランとして、放課後児童クラブと連携させ、学校の校庭・体育館・特別教室などを活用し、平日の放課後に児童の健全な成長発達を図っていくための遊びやスポーツ・文化等の活動を安全にできる居場所づくりを行う。</p> <p>平成24年度から運営業務を民営委託しており、クラブマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用し、支援員と連携を図りながら実施する。</p> <p>[運営業務委託] 株式会社アンフィニ [今期委託期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>放課後に小学校の施設を活用して、子ども達の安心・安全な活動場所を設け、異年齢で遊んだり地域の方々に子ども達の活動を支援してもらうことにより、子どもの交友関係の広がりや地域の教育力の向上につながり、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる。</p>	
<p>(参考) 基本事業の目指す姿</p> <p>子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。</p>	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>改善内容(課題解決に向けた解決策)</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p><input type="checkbox"/>増加 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>削減</p>	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
<p>子ども教室を開設して10年が経過した。放課後の毎日、子ども教室に「参加する場合、2,000円/月の参加費を受益者負担としている。しかし、開設当初は知名度も低く、多くの児童に参加してもらおう目的で、週1日を無料日として事業の周知及び浸透を図っていた。開設当初から今日まで無料日にイベントを実施していたが、子ども教室の活動も定着し、毎日教室活動に参加する児童も増えるなど、無料日の役割も果たしたと考えられることから、無料日の廃止を検討する。</p>	<p>放課後子ども総合プラン実行委員会及び各小学校の放課後子ども総合プラン運営委員会で無料日の廃止について協議・検討をした。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
子ども教室開設数（教室）	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
子ども教室参加登録児童数（人）	545.00	541.00	532.00	540.00	550.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	数年前から実行委員会においても、無料日の取扱いについて意見が出されていた。また、子ども教室参加児童よりも年々児童クラブ利用児童が増え、合同活動（教室児童・クラブ児童）の際に活動場所（学校施設）も手狭になっている状況である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	無料日の廃止に向けて、実行委員会において協議の結果、無料日の廃止の承諾が得られたので、今後は、各小学校保護者に子ども教室の無料日の廃止についての周知・規則改正等を実施する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	57,277	56,306	56,345	56,546	56,546
	国・県支出金	13,306	13,273	12,672	16,829	16,829
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,281	4,750	5,715	4,762	5,715
	一般財源	39,690	38,283	37,958	34,955	34,002
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	526.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	2,157	0	0
トータルコスト		57,277	56,306	58,502	56,546	56,546

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	幼保施設防犯カメラ設置補助金交付事業		担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成18年度～
	施策	子育て支援の充実		種別	任意的事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供		市民協働	その他
予算科目コード	01-030202-14 単独	根拠法令・条例等			

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成18年6月の、市内各小学校に児童に危害を加える趣旨の脅迫状が届いた事件をきっかけに、市内小中学校及び公立保育所へ防犯カメラを設置したことから、私立幼稚園及び保育所も同様体制を構築しやすくするため、防犯カメラ設置に対する費用の一部を補助する事業として開始した。	市内の私立幼稚園及び私立保育所が防犯カメラを設置した際に、その費用の2分の1（上限額80万円）を補助する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内の私立幼稚園及び私立保育所に対して防犯カメラ設置費用を補助することで、防犯体制強化が図られ、安心・安全な保育環境を整備する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
新設の認可保育所及び小規模保育園で希望する園に補助ができるよう、引き続き当事業の周知と意向調査を実施する。	施設長会議において事業内容を説明し、防犯カメラ設置時の事業利用を呼び掛けた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
防犯カメラを設置した市内私立幼稚園及び私立保育所の累計（園）	13.00	13.00	13.00	13.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新たに防犯カメラを設置する事業所がないため、事業の利用は停滞している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	新設の認可保育所及び小規模保育園で希望する園に補助ができるよう、引き続き当事業の周知と意向調査を実施する。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	0	0	0